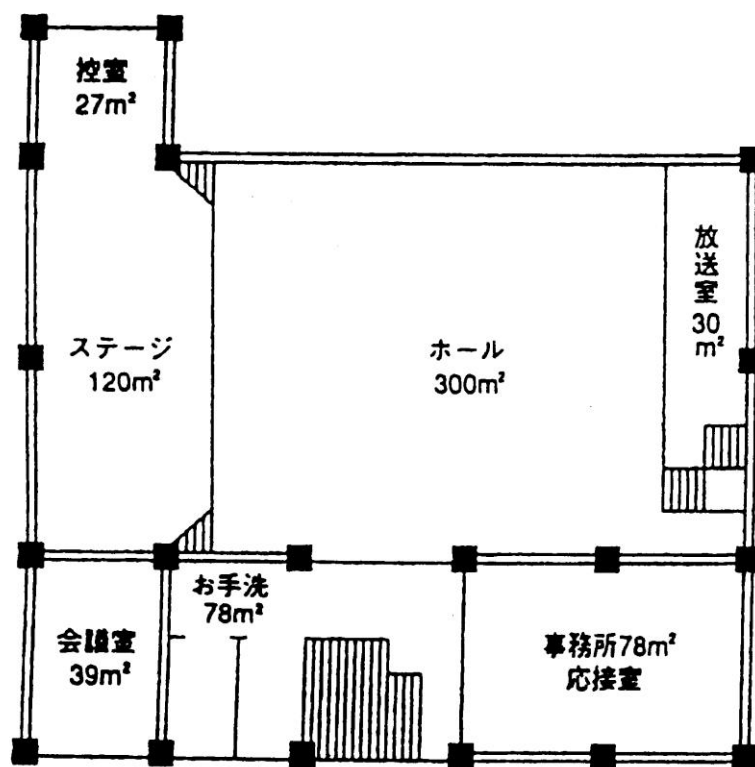


中 央 公 民 館



利用施設のご案内

〈中央公民館平面図〉（2階）



部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	学習会・研修会・講演会・発表会・展示会等 (ピアノ・スクリーン・テーブル・イス・移動黒板)
会 議 室	15 人程度	学習会・研修会・会議等 (テーブル・イス・黒板)

I 中央公民館の沿革

昭和50年 7月11日	那覇市公民館条例が公布された。 (当条例は昭和50年 8月 1日から施行)
8月 1日	那覇市中央公民館が設置された。 (当施設は米国民政府が「那覇琉米文化会館」として、昭和44年 7月に建設し、文化活動の場として市民へ利用されてきたが、本土復帰と同時に日本政府に譲渡された。その後、昭和48年 6月22日に那覇市へ譲渡され、那覇市企画部の所管のもとに那覇市文化センターとして活用されてきた。昭和50年 8月 1日に教育委員会に移管され、1階に那覇市立図書館と那覇市立視聴覚ライブラリーが、2階に那覇市中央公民館がそれぞれ設置された。) 館長(兼務) 山元芙美子、主査 与儀喜常、主事 佐久本全が発令された。 社会教育指導員 伊良波長正、国吉千代子が配置された。 那覇市中央公民館の開館式が挙行された。
10月 1日	那覇市公民館運営審議会委員10人が委嘱された。(以後 2年毎に改選)
10月 7日	市民講座が開始された。
11月 7日	第1回那覇市公民館運営審議会が開かれ、会長に安里盛吉氏、副会長に富名腰朝氏が選任された。
12月 6日	沖縄県公民館大会が那覇市で開催された。
昭和51年 5月30日	放送機材が中央公民館に整備された。
8月20日	館長 山元芙美子が辞職し、新たに館長(兼) 金城幸明が発令された。
9月 1日	おかあさんのテレビ学級が開設され、放送利用が開始された。
10月 1日	主事が職名変更になり社会教育主事が発令された。
昭和53年 1月 1日	館長 金城幸明が配置替えにより、館長(兼) 浦本茂則が発令された。
昭和54年 5月 1日	館長(兼任) 浦本茂則が専任館長として発令された。
昭和57年 5月 1日	館長 浦本茂則が配置替えにより、館長 長堂忠一が発令された。
昭和59年 5月 1日	定数増(主事1)
昭和61年 2月16日	第33回沖縄県社会教育研究大会において、優良公民館として表彰される。
4月 1日	主事が公民館主事に職名変更された。
平成元年 4月 1日	館長 長堂忠一が配置替えにより、館長 国場幸忠が発令された。
平成 2年 4月 1日	館長 国場幸忠が退職により、館長 上原武雄が発令された。
6月 3日	中央公民館利用団体連絡協議会が結成された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において、優良公民館として表彰される。
平成 3年 2月 1日	創立15周年記念誌が発行された。
平成 4年 4月 1日	館長 上原武雄が配置替えにより、館長 佐久本全が発令された。
平成 6年 9月21日	第45回九州地区公民館研究大会(沖縄大会)が、那覇市で開催される。
平成 7年 4月 1日	館長 佐久本全が配置替えにより、館長 山内昌志郎が発令された。
平成 7年 8月 1日	館長 山内昌志郎が配置替えにより、館長 伊元源治が発令された。
平成 8年 4月 1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増
平成10年11月 2日	第51回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。

平成12年4月1日	館長 伊元源治が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成13年11月16日	全国公民館連合会設立50周年記念式典において、館長 前原信喜が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成14年4月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。
平成15年4月1日	主査1増（時限配置）
平成16年3月23日	公民館条例施行規則が改正され、平成16年4月1日より、若狭公民館に非常勤館長が配置された。
平成16年3月31日	主査1減（時限配置解除）
平成16年11月9日	全国公民館連合会より、館長 高江洲盛雄が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成16年12月27日	公民館条例の改正により公民館運営審議会が廃止された。
平成17年4月1日	館長 高江洲盛雄が退職により、館長 新垣紀夫が発令された。 社会教育指導員1減
平成19年4月1日	館長 新垣紀夫が配置替えにより、館長 入慶田本浩徳が発令された。 社会教育指導員1増
平成21年4月1日	館長 入慶田本浩徳が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成22年4月1日	館長 前原信喜が参事兼館長として発令された。
平成22年11月11日～12日	第61回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）が、那覇市（中央公民館ほか7会場）で開催される。
平成23年10月20日	第33回全国公民館研究集会 in さが（佐賀県）において、参事兼館長 前原信喜が全国公民館永年勤続職員表彰を受ける。
平成24年4月1日	参事兼館長 前原信喜が退職により、館長 手登根朗が発令された。
平成26年4月1日	館長 手登根朗が配置替えにより、館長 具志真孝が発令された。
平成27年4月1日	主任公民館主事（主事級）1減、社会教育指導員1減
平成28年3月	中央公民館開館40周年記念誌が発刊された。
平成28年4月1日	館長 具志真孝が退職により、館長 古塚達朗が発令された。
平成30年11月15日～16日	第69回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）および第48回沖縄県公民館研究大会（那覇大会）が、那覇市（牧志駅前ほしぞら公民館ほか6会場）で開催される。
平成31年4月1日	館長 古塚達朗が退職により、館長 照屋満が発令された。

Ⅱ 令和2年度中央公民館事業目次

1	学習風景（写真）	13
2	成人一般対象事業	
	〔1〕 市民講座	
	◇夢かなえよう！未来の夢づくり2021『ココロの整理整頓術』	14
3	青少年対象事業	
	〔1〕 青年講座（中央公民館・牧志駅前ほしぞら公民館 合同講座）	
	◇「eスポーツ」はあなたを変える!?	
	～「eスポーツ」を通して社会とつながる子どもたち～	15
4	家庭教育事業	
	〔1〕 家庭教育学級	
	◇子どものやる気をコーチ！ing	16
	◇「ひきこもり」について知っておきたいこと	17
	◇ステップアップ自己肯定感	18
	◇読み聞かせボランティア養成講座（入門編）	19
	〔2〕 乳幼児学級	
	◇ママ&パパはきみの応援団！	20
	◇ステキな子にな～れ♪ ステキな家族にな～れ♪	21
5	公民館まつり	22
6	新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止になった事業	24

1 学習風景



市民講座

「夢かなえよう！未来の夢づくり2021
『ココロの整理整頓術』」



青年講座

中央公民館・牧志駅前ほしぞら公民館 合同講座
「eスポーツ」はあなたを変える!?
～「eスポーツ」を通してつながる子どもたち～



家庭教育学級

「子どものやる気をコーチ！ing」



家庭教育学級

「ひきこもり」について知っておきたいこと



乳幼児学級

「ママ&パパはきみの応援団！」



乳幼児学級

「ステキな子にな～れ♪
ステキな家族にな～れ♪」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

夢かなえよう！未来の夢づくり2021『ココロの整理整頓術』

趣 旨：昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、市民生活においても様々な規制や自粛を強いられている。このことは人々のこころの健康状態にも少なからずダメージを与えていると考えられる。コロナの収束が見通せない中で、新年を迎えるにあたり、当講座を通して心理的影響を最小限に食い止め、一人でも多くの市民がいきいきと充実した一年が過ごせるよう「こころの健康」を保つための一助とする。

配信期間：令和3年1月26日（火）～2月25日（水） ※期間限定配信

場 所：Y o u T u b e にて限定配信

対 象：インターネット環境のある那覇市在住・在勤・在学者

受 講 料：無料

定 員：制限なし

申込人数：27人

視聴回数：53回

講 師：新里 利浩（日本結書協会 代表）

※受講者で準備するもの※
画用紙・マジック・はさみ・のり・
切り抜いてもいい雑誌やチラシ



★★ 学習プログラム ★★

内 容	
講話編	・講話編とワークショップ編の二本立てを一本の動画にまとめ配信する ・解説を交えながら、自分が今、悩んでいることなどを質問ワード（なぜ？・どうして？・どうなりたい？）から答えを導き出し行動に結ぶ。
ワークショップ編	・講話編で導き出した答えを、各自紙に書きだしたり、貼り付けたりして仕上げ、その活用法を学ぶ。

【参加者の声】

- ・オンライン講座は初めて受けるので、気持ち的にも戸惑っています。いいのかわからない。余程の関心がなければ続きそうにないです。
- ・端的でわかりやすく、大事なところを繰り返してくださるので子供にも分かりやすかったです。役に立ちましたよ。外出自粛しているので、ちょうどよかった。早速、材料を集めて週末にやってみます。コロナで生活の制限ありますが工夫すると楽しいですね。ありがとうございます。
- ・なかなか片付けが進まないの、片づけたくなる、手放せる心理学など知りたいです。
- ・自分の気になるものを意識して切り貼りする作業を通して、自分に向き合えました。講師の語りも穏やかでとても良かったです。
- ・Online でやってくれて、とてもありがたいです。
- ・心の講座をもっと掘り下げて、取り上げて欲しい。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症予防対策として様々な規制や自粛が続く中で、「何か前向きになれるものはないか？」と考え実施した。コロナ禍でも色々と工夫すれば楽しめることが当講座を通して市民に届けられた。新型コロナが収束するまではオンライン講座を続けなければならないが、受講者からオンライン講座に対する不安等の声も寄せられているので、その不安なココロを楽しめるココロへ変化できるよう取り組んでいきたい。

3 青少年対策事業

〔1〕青年講座（中央公民館・牧志駅前ほしぞら公民館 合同講座）

「eスポーツ」はあなたを変える!? ～「eスポーツ」を通して社会とつながる子どもたち～

趣 旨： 今や数千万人のユーザーを抱え、賞金制の大会が開催されるまでになった世界規模のeスポーツ。一見、華やかさだけがクローズアップされているeスポーツであるが、その背景にある社会的意義（どこにいてもできる・男女差がない・障害の有無を問わない）等を理解させ、「eスポーツ」をコミュニティー作りや仲間作りのツールとして捉え、様々な社会問題、特に青少年を取り巻く問題解決の一助となる新たな視点を認識させる。

配信期間：令和3年3月1日（月）～3月15日（月）まで

場 所：中央公民館YouTubeおよびほしぞら公民館チャンネルにて限定配信

対 象：オンライン受講が可能な那覇市内在住、在勤、在学の高校生から30代の人。又はeスポーツに興味関心がある人

受 講 料：無料 定員：なし

申込人数：25人 視聴回数：193回

講 師：J-S n a k e（新里 渉）RyukyuGaming 所属プレイヤー
安次富 亮伍（NPO 法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい 事業統括マネージャー）



★★ 学習プログラム ★★

内 容	視聴回数
プロのeスポーツプレイヤーとeスポーツを青少年の自立援助に活用されているお二人を講師に迎えeスポーツが持つ「無限の可能性」「危険性」「向き合い方」などをわかりやすくお話をしていただく。	82回
【その1】現代のゲームとは	
【その2】ゲームと社会福祉の親和性について	57回
【その3】ゲームの危険性と向き合い方について	54回

【参加者の声】

- ・子どもの理解に繋がった。
- ・eスポーツには個人的に関心があり、様々な側面から学びを深められるきっかけとなり、とても良い時間となりました。eスポーツやゲーム自体に偏見があることは否定できなくて、その偏見をどう緩和していくか、ということを踏まえ、本講座で説明のあったメリット・デメリットが浸透していけば、本当の意味でゲームとの共存ができる社会が出来るのかなあと感じました。それによって、いろんな人にもっと社会参画の機会が与えられていく、もしくは自分で見出すことが出来ると確信しています。
- ・eスポーツの教育的効果や那覇市の取り組みについて、対面講座で受講したい。
- ・話の内容がとてもよく、限定配信ではもったいないので常時公開にしてほしいです。

【まとめ】

今回は合同企画ということもあり、お互いの異なる視点からのアドバイスにとっても助けられました。当初は受講生が実際にeスポーツ大会を開催するまでを目標にプログラムを立てていましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、YouTube 限定配信でeスポーツを取り巻く現状をご講話いただきました。講師お二人の思いが受講生にも伝わったことがアンケートの回答からも読み取れ、次年度はさらに深めていきたいと思っています。



4 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

子どものやる気をコーチ! ing

趣 旨：自己肯定感（自尊感情、自尊心、自己効力感）が低いと、不登校や学力不振に影響が出てくることは否定できない。そしてまた、親自身の自己肯定感が低い人も多く、子育てに影響していることが危惧される。家族の関わりにコーチングを取り入れることにより、意識の変化が起こり、家族間のコミュニケーション能力が上がる。それによって親が子に寄り添うことができ、子は勉強やスポーツ・趣味に対する向上心アップを期待することができる。

配信期間：令和2年8月31日（月）～9月30日（水）（その後、12月28日（月）まで配信延長）

場 所：YouTubeにて限定配信

対 象：那覇市在住・在勤の保護者

受講料：無料

申込人数：15人 視聴回数：133回

講 師：平良和昭（セラピスト専門メンタルコーチ）



★★ 学習プログラム ★★

	内 容
1	子育て中の親にとって、子どもへの願いとは
2	受け入れは連鎖する（自己肯定感）、声かけ1つで家族は変わる
3	自分で考えて動く力・・・エンジン（自己受容はそれを整える） コーチングはガソリン
4	相手の関心に関心を向けよう
5	事前メールで受け付けた質問に答える



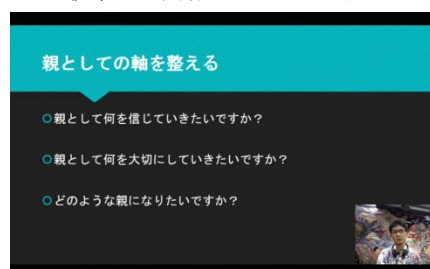
【参加者の声】

- ・子どもだけではなく、夫にも応用できると思いました。
- ・子供への声かけだけではなく、自分自身の心の持ち方を考える機会になりました。

【まとめ】

子どもの才能を見つけて伸ばしてやりたい。勉強にもスポーツにもイキイキとした子どもであって欲しい。親なら考えることであろう。平良講師の穏やかな口調は、コーチングのスキルを少しでも活かして欲しいという気持ちがこもっていた。親の声かけひとつで子どもだけでなく家族が変わる。子育ては大変というのが定番だが、あっという間に終わってしまう子育てを楽しんで欲しいと願う。

当初、通常講座として企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインへ変更した（本講座から、本格的な動画配信）。講座自体の構成変更や配信のための設定や機器整備など試行錯誤となった。アンケートもオンラインで取ることができた。満足度は100%に達していたので都合の良い時間に、気になるところを何度も視聴できるという利点が想像できる。また、企画から実施において、反省も多く浮き出たので、これからのオンライン講座の企画に活かしていければと考える。



「ひきこもり」について知っておきたいこと

趣 旨：新型コロナウイルスは「学習面」だけではなく子ども達の「精神面」（やる気が起きない、漠然だが登校したくないなど）にも影響を与えている。3年間続けてきた不登校の課題から、「ひきこもり」という次なる課題に繋がっていく。2019年10月現在で日本には54万3933件の不登校がある。それに対し、ひきこもりは100万人を超える。ひきこもりを心配している市民に対して、行政だけではなく多方面から情報を提供することにより少しでも不安解消へと近づけていきたい。

配信期間：令和2年12月15日（火）から12月28日（月）まで
（その後、令和3年1月18日（月）まで配信延長）

場 所：YouTubeにて限定配信

対 象：那覇市在住・在勤の保護者（新聞掲載により市外まで拡張）

受 講 料：無料 申込人数：184人 視聴回数：865回

講 師：1：草野智洋（琉球大学）

2：国頭ゆきみ（沖縄県ひきこもり専門支援センター）、3：経験者

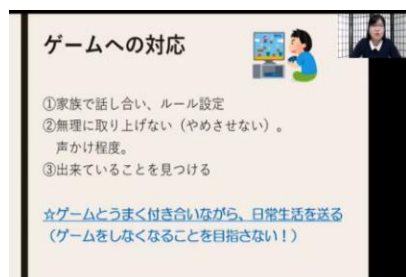


★★ 学習プログラム ★★

	内 容	
1	ひきこもらざるを得ない心を理解する	1：ひきこもりとは 2：ひきこもりの回復プロセス 3：家族（周囲の人）にできること、本人にしかできないこと
2	沖縄県におけるひきこもり支援について	1：ひきこもり支援センターについて 2：ひきこもりとは（具体的に） 3：家族の関わり方（あさおそ） 4：支援窓口（那覇市）
3	嬉しかった周囲の対応	ひきこもりが始まる以前、ひきこもっていた頃の心境、支援窓口を訪ねたきっかけ、就労した現在までを語る
4	公民館から	視聴した人へ向け、講座としての主旨を伝える

【参加者の声】

- ・他の機関も相談しましたが今回のように当事者のことを一番に考えての講座で大変勉強になりました。今後もこのような講座を配信よろしくお願いいたします。
- ・「ひきこもり」に関してこういう機関がある。色々な形で動いている人がいる。こういう考えがある。などの情報発信という点でとても意味のある取り組みだったのではないと思う。コロナ禍のため実際の講話ではなくこのような形になったのだと思われるが、逆に、当事者でもないような様々な人にも「ひきこもり」をちゃんと理解してもらえらるいい機会だったなと感じる。
- ・長い年数、家族だけで悩み続けてきましたが、ひとすじの光を見たように思います。あとは家族の行動のみ。早速、支援センターを訪ねたいと思います。
- ・今回、沖縄タイムスで講座を知ることができました。ひきこもりについて本人への声かけの仕方やゲーム依存への対応など、具体的に知ることができてとても良かったです。



【まとめ】

ひきこもりと言っても、買い物に行ける人もいれば部屋から出てこない人もいます。8050問題がマスコミに取り上げられるようになった昨今、不安を大きく膨らませてしまっている人が増えているのではと想像できる。現況の不安に対処するのは公的機関の役割だと実感した。

ステップアップ自己肯定感

趣 旨：沖縄の子どもたちは全国的な調査データからみても自己肯定感（自尊感情、自尊心）が低く、それが不登校や学力不振に関係していると推測できる。

- ・早寝早起き朝ごはんの基本的生活習慣が自己肯定感と直結する。

（早く起きて朝食を摂る → 心身のエンジンがかかりやすい → 集中力の向上）

- ・コロナ禍により家庭で過ごすことが多くなり、体を動かすことが減り夜は寝られない、朝も起きられないなど生活習慣が乱れていることが予想される。

※前年度も同テーマで開催し需要が高かったため今回は続編。

配信期間：令和3年2月19日（金）～3月12日（金）

場 所：Y o u T u b eにて限定公開

対 象：那覇市在住・在勤の保護者、テーマに関心のある人

受 講 料：無料 申込人数：164人 視聴回数：全474回

講 師：1：西本 裕輝（琉球大学 教授）、2：夢実現「親のまなびあい」プログラム



★★ 学習プログラム ★★

	内 容	
1	ステップアップ 自己肯定感 本編	① 沖縄の現状 ② 自己肯定感とは ③ 調査結果 ④ 自己肯定感を高めるためには
2	実践編 私たちができること	① 地域活動について ② 自然体験について

【参加者の声】

- ・具体的事例を出しての解説が分かりやすかったです。自己肯定感は他の講義でも聞いたことがありますが、沖縄の貧困問題との関係性は今まで理解していませんでした。日々の生活習慣、当たり前の事を当たり前にやって行くことの尊さを痛感しました。有り難うございました。
- ・現在育児休業中で、子育てに役立つ講座を受講できて助かりました。私自身自己肯定感が高い自覚があり、今回データをもとに説明していただき、納得しました。今後の子育てに活かしたいと思います。
- ・沖縄で、いじめ・不登校が多いことに驚きました。人が温かく、助け合える地域だと思っていたので。我が子との関わりはもちろん、我が子の友達や地域の子に声かけしたりして、自分ができていることをしていきたいと思います。
- ・健全な精神は健全な肉体に宿るという言葉思い出しました。すぐにでもできることはあるんですね。
- ・小さなことでも褒めてあげるというのを意識していきたいなと思いました。
- ・親の肯定感が子どもに影響する事に気付きました。自分の行いを見直してみようと思います。今、家庭で行っている事が自己肯定感を高める事になっていると学びました。今後は地域行事にも積極的に参加しようと思います。

【まとめ】

もっと子どもを伸ばしてあげたいと思っている親をターゲットに企画した。沖縄は自己肯定感が低く、いじめや学力低下にも少なからずそれが関与しているということが解っている。全ての理由がそこにあるというわけではないが、大人が日常的にできる少しの工夫によって、（過ごし方や声掛け）が子ども達を伸ばすきっかけとなる。本企画は、沖縄県生涯学習振興課の夢実現「親のまなびあい」プログラムをアレンジして実施した。



読み聞かせボランティア養成講座（入門編）

趣 旨：読み聞かせを通して、多くの子どもたちが絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるよう、読み聞かせの基礎や実践方法を学ぶ。また、読書環境づくりの促進ができる人材を養成し、活動の場を広げると同時に、参加者自身が本を読むことの楽しさを学ぶ。

配信期間：令和3年3月16日（火）10：00～3月30日（火）12：00まで

場 所：Y o u T u b eにて限定配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学中、読み聞かせに関心のある方、または市内で読み聞かせボランティアとして活動できる方。

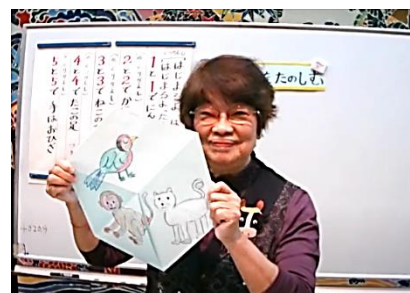
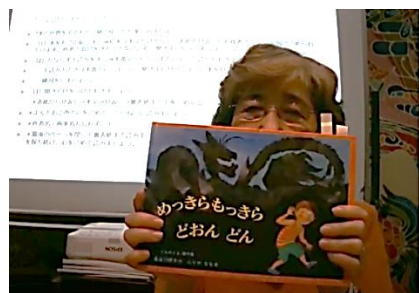
受講料：無料 申込人数：95人

視聴回数：延べ370回

講 師：山内 淳子（沖縄県子どもの本研究会）、田名 洋子（沖縄県子どもの本研究会）
平良 京子（沖縄県子どもの本研究会）

★★ 学習プログラム ★★

回	内 容	講 師	視聴回数
1	「子どもたちと絵本の扉をあけよう」 ～読み聞かせの必要性と方法～	山内 淳子	150回
2	「絵本の種類と選び方」	田名 洋子	133回
3	「お話会のプログラムにひと工夫を」	平良 京子	87回



【参加者の声】

- ・オンライン講座だと講師の方との直接的なやり取りができませんが、期間中何度も見返すことが出来るのと、期間中ならば時間を気にすることがなく視聴できるのがよかったです。
- ・やはり絵本は奥が深いと痛感しました。
- ・講座の先生方が素晴らしくて、読み聞かせの意味や絵本の選び方、本の持ち方、絵本の開き方、導入の仕方など、実践的でした。また3人の先生方、みなさん素敵な声で、声を聞くだけで癒されました。

【まとめ】

7月～8月に対面式の講座を開催しましたが、コロナ禍により途中で中止となってしまったため、オンライン講座に切り替えて再開しました。総勢95名もの方々からお申し込みをいただき、自分が好きな時に、何度でも受講ができるという、オンライン講座への需要の高さがうかがえました。

改善点として、「一回一回もう少し長く、深い内容で学びたかった」という意見をいただいたため、次回講座を企画する際に改善していければと思います。

※対面式の講座を全5回開催予定だったが、第1回7/28（火）10：00～12：00「読み聞かせの必要性と方法」（講師：沖縄県子どもの本研究会 山内淳子）のみ開催し、第2回～第5回は中止となった。参加人数は22名。

〔2〕乳幼児学級

ママ&パパはきみの応援団！

趣 旨：育児のスタートである乳児期（1歳未満）から幼児期（未就学）の保護者へ向けて。まじめに取り組めば取り組むほど悩み後悔が伴う子育て。更に、コロナウィルスの影響でSTAY HOMEとなり、小さな子どもを持つ親は悩みやストレスが増幅している人が多いと予想される。コーチングを知ることによって夫婦・親子の関係を信じ、寄り添うことができるように発信する。

日 時：令和2年5月23日（土） 10：00～12：00

場 所：インターネットアプリ Zoom 利用

※事務局は繁多川公民館から発信

対 象：那覇市在住・在勤の乳幼児を持つ親（0才～未就学児）

受 講 料：無料

定 員：30組 申込人数：13組 参加人数：10組

講 師：黒木教子（日本親子コーチング協会理事）



★★ 学習プログラム ★★

	内 容	形 式
1	【アイスブレイク】ピットインカードで自己紹介	講話、グループワーク
2	子育てとコーチング ・コーチングとは？会話のポイント	講話
3	言葉の力 ・否定形の会話による脳へのダメージ ・褒めると勇気づけの違い	講話 グループワーク
4	質問・感想	グループワーク、質疑応答

【参加者の声】

- ・今回はZoomで自宅受講でき、さらに無料というところがきっかけとなりました。育児書を読まずに子育てしてきました。今回、自身の育児方法を見直すことができ、今後の育児にとっても役に立つことばかりでした。特に「勇気づけ」ということが印象的で、大切だなと思いました。県外出身で頼る人がいない中での育児なので、今回他の方とお話ができ、皆さん同じように頑張っているんだということがわかり、励みになりました！
- ・Zoomでの講座、子連れの私にとって、自宅でこどもがいながらの環境で参加できるということはとても良かったです。興味はあっても何かしらの理由で講座会場まで行けない方、多数いると思います。職員の皆さん、とても良いアイデアをありがとうございます！これからもZoom講座開催希望！

【まとめ】

「乳幼児」という言葉通りに乳児・幼児の保護者を対象にした。受講者を1歳未満・1人目の子どもとすると、どうしても家庭教育学級の対象となるまで隙間が発生するからである。育児の悩み、子どもへの関わりや自身のケアなどについて、双方向のオンライン講座で気軽に自宅から受講できた。アンケートには、これからはオンラインの講座を望む声が多かった。



ステキな子にな～れ♪ ステキな家族にな～れ♪

趣 旨：育児のスタートである乳児期（１歳未満）から幼児期（未就学）に、不安や不満・悩みを共有し学ぶことにより、家族で楽しい時間を過ごせるような学びを提供する。

新型コロナウイルス感染拡大により、完全オンラインにて実施。

※対象を乳児期だけではなく、幼児期の親も含む。

配信期間：令和２年９月４日（金）～ ９月３０日（水）各回１４時スタート

場 所：Y o u T u b eにて配信

※１回目、２回目はまーいまい Naha から生配信

対 象：那覇市在住・在勤の乳幼児を持つ親（０才～未就学児）

受 講 料：無料

申込人数：１回目－６人、２回目－１０人、３回目－８人、４回目－４人

視聴回数：１回目－１６１回、２回目－９９回、３回目－４８回、４回目－１９回



★★ 学習プログラム ★★

	配信期間	内容	講師
1	9 / 4 (金) ～ 9 / 18 (金)	音楽と声と絵のお話の時間 「うみになる、もりになる、うたになる」	上田真弓・犬塚拓一郎 演劇企画ユニット「ウニココ」
2	9 / 8 (火) ～ 9 / 30 (水)	アンガーマネジメント ☆子育て期のイライラどうする？	中田太美子 日本アンガーマネジメント協会
3	9 / 15 (火) ～ 9 / 23 (水)	急な病気やケガの対処方法 〈家で様子を見る？救急？判断はどこ？〉	鈴木ミナ子 沖縄県立看護大学助教
4	9 / 23 (水) ～ 9 / 30 (水)	*罪悪感なし！ パパでも簡単に作れる離乳食（中期）*	知念真樹 沖縄県立看護大学講師

【参加者の声】

- ・子どもと演劇を見るのは初めてだったので、「知らない場所でも、怖がらずに映像と音をたのしんでくれる」子どものことを発見できました。会場に行けて良かったです。ありがとうございました。
- ・怒りながら子育てすることに悩んでいたもので、今回受講できてとてもラッキーでした。「べき」に縛られてイライラしていたと分かり、気持ちが楽になりました。おかげさまで受講後はイライラが減り、この数日の間に子どもから「ママ優しいね」と言われました。私や家族の笑顔が増えるように練習を続けていきたいと思います。有意義な企画ありがとうございました。
- ・勉強になりました。判断基準がわかることで、冷静に対処できればと思います。
- ・離乳食は複数の商品を組み合わせることは思い浮かばなかった。疲れた時にぜひ作りたい。
- ・とても良かったです。子どもを怒ることに日々罪悪感があったので、これからは理性が働くのを待ち、きちんと考えて伝えようと思います。とても身になる講座でした。一朝一夕とはいきませんが、子どもの笑顔のためにも頑張ります！
- ・もっと楽しんでもいいんだと思った。



【まとめ】

楽しく子育てができるのが理想であるが、現実ではストレスでイライラしたり、頑張りすぎて疲弊してしまう。頑張っているママを中心に、気軽にオンラインで受講して欲しいと考える。時間や場所を選ばないオンライン講座の定着化はコロナ禍の新しい公民館講座だと感じた。

5 公民館まつり

舞台発表風景

※公民館まつりは、観客の人数制限及び感染症対策を徹底の上、3月21日（日）に舞台発表のみ実施しました。



琉舞サークル 花ずみ会



エヴァダンシア与儀



創作エイサー隊 天之川



民踊サークル あしびなー



ベリーダンス サクラ〜レ



彩風

第45回

令和3年3月21日(日) 午後1時 開演

那覇市中央公民館まつり



司会

那覇青少年舞台プログラム

舞台発表プログラム

	種 目	団体名	演 目	開始時刻
1	琉舞	琉舞サークル「花すみ会」	かぎやで風	13:00
2	バトントワリング	エヴァダンシア与儀	みんながみんな英雄、 It's a Small World、ロコローション	13:20
3	あいさつ	中央公民館利用団体 連絡協議会 会長	会長：與座 正夫	13:40
4	エイサー	創作エイサー 天之川	しんかぬちゃー、グスージサビラ	13:45
入れ替えタイム(空気・観客)				
5	民踊	民踊サークルあしびなー	首里城音頭、 ニフェデービル ありがとう	14:30
6	ベリーダンス	ベリーダンス★サクラレ	ストーム、オホアシス	14:50
7	あいさつ	那覇市中央公民館長	公民館長 照屋 満	15:10
8	エイサー	彩 風	オリオンビール、KUDAKA、 あしびなー、ミルクムナリ	15:15



新型コロナウイルス感染予防対策のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・距離をとって、お座りください。
- ・ご声援は大きな拍手のみでお願いします。
- ・マスクの着用、手指の消毒の実施。
- ・前半終了後、換気と観客の入れ替えをいたします。

那覇市中央公民館

那覇市寄宮 1-2-15

TEL : 917-3442

FAX : 835-4707

Email : E-S-KOU0012@city.naha.lg.jp

6 新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止になった事業

事業名及び講座名	開催予定月	定員（人）	時間×回数
市民講座 「聴いて！観て！五感で楽しむ！琉球伝統芸能」(全4回)	R2年10月	40	2時間×4回
市民講座 「古塚達郎と行く！那覇探訪」	R3年1月	20	2時間×1回
成人講座 「蘇る五感！大人の自然散策」	R3年2月	10	2時間×2回
成人講座 「ウォーキング講座～これであなとも10歳若くなる～」	R2年9月～10月	20	2時間×4回
高齢者学級 「Let's異文化体験～中国編～」 (全4回)	R2年10月	20	2時間×3回
青年講座 仕事！面接に活かせる！ 「傾聴・回想法」を身につけよう！	R2年10月～11月	未定	未定
親子ふれあい教室 「秘密基地づくり～アンダーコ ナでの避難所体験～」	R2年10月	10組	2時間×2回
地域連携事業 「防災 大切な人を守れますか？」	R3年1月	未定	2時間×1回
地域連携事業 「遊びにおいでよ！」	夏休み、秋休み、 冬休み、春休み	なし	未定
地域連携事業 「サンフラワープロジェクト」	R2年11月	なし	未定

【中央公民館・館長より】

ピンチはチャ～～ンス

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な事業が中止や延期になり、残念な思いをしましたが、このピンチをチャンスに変えられないかと、これまでできなかったオンライン講座にチャレンジしました。Wi-Fi環境が整っていないため、他の施設を借りて実施したり、慣れない編集作業に四苦八苦しなう、いくつかの講座をオンラインで実施することができました。

コロナとの戦いはまだまだ続きそうですが、公民館で出来ることは何かを考えながら、市民の皆様の学びが止まることが無いよう、いろいろなことに挑戦していきます。